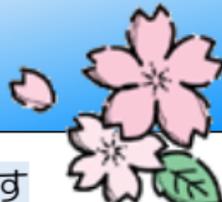


清新愛宕



卒業・進級おめでとうございます

校長 濱 中 昌 志

日差しの明るさと暖かさに、確かな春の訪れを感じるようになりました。本日、修了式を行い、令和7年度の教育活動を無事に終えることができました。

今年度も生徒に対して、優しさに磨きをかけ、開拓の精神が受け継がれるこの地域から、北海道はもとより、日本、そして世界を優しさあふれる素敵な場所に変えていくため、「世界一」の優しい学校を目指すことを誓い、取り組みを進めてまいりました。

先行きが不透明な時代に生きる私たちですが、世界を変えるという大きな目標に向かって、全生徒が一丸となり努力を重ね、今では誰もがこの言葉を口にし、その思いが着実に広がっていることを実感しています。

また、「命の授業」や「心の授業」等も通して、生徒自らが地域の未来を担う存在であることを自覚するとともに、一人一人が愛宕中生としての誇りを持ち、多くの実践を積み重ねてくれました。

これらの取り組みを進めることができましたのは、保護者や地域の皆様のご理解とご協力のおかげです。

心より感謝申し上げます。

「卒業式」式辞の中で私が伝えたこと

名前を呼ばれることは 存在を認められること
皆さんは 生まれてから
何千 何万回 名前を呼ばれてきたでしょう
家族に 先生に 友だちに
数えきれないほど呼ばれてきたはずですが
その一つ一つが「あなたは大切な存在だ」という
メッセージだったのだと思います
私はこれまで
「世界一優しい学校」を目標にしてきました
皆さんが誰かのことを思い行動した日常の積み重ね
その一つ一つが 誰かの心を支える力になり
皆さんが愛宕中で流した汗や涙
そして互いに呼び合った名前
迷いながらも挑戦し続けた日々は
これからの人生を支える 確かな勇気の源です
そして その根っこにあるのは
皆さんが世界一を目指してきた「優しさ」なのです



ごめんなさいの数だけ 人は優しくなれます
さよならの数だけ 人は愛を知ります
そして ありがとうの数だけ 人は笑顔になり
賢くなれる 私はそう信じています
ありがとうという言葉の力を 大切にしてください

この言葉を愛宕中生に贈りました。

今後の人生で苦しい時、壁にぶつかった時、負けずに立ち向かう気持ちや、乗り越えるために努力する心を大切に出来るようになってくれると信じています。

4月には1年生が入学してきます。先輩として新入生をしっかりと導きながら、この愛宕中の学びを高めて欲しいと思います。

結びに、私ごとで恐縮ですが、3月いっぱいでの愛宕中学校を離れることとなりました。素直で明るい生徒、伝統ある温かな地域に囲まれてあっという間の2年間の勤務でした。愛宕中での勤務は私にとってたいへん幸せな時間であったことに間違いありません。

これまでにお寄せいただいた温かいご支援とご厚情、心より感謝申し上げます。
ありがとうございました。

愛宕中に関わる全ての皆様に贈ります

「子どもを見る目 活かす知恵」東井 義雄 著

どの子ども子どもは星
みんなそれぞれが それぞれの光をいただいでいて
まばたきをしている
僕の星を見てくださいと まばたきをしている
私の光を見てくださいと まばたきをしている
光をみてやろう まばたきに答えてやろう
光を見てもらえてないと 子どもの星は光を消す
まばたきをやめる
やめてしまおうとしはじめている星はいないか
光をみてやろう まばたきに答えてやろう
そして やんちゃな者からは やんちゃ者の光
おとなしい子からは おとなしい子の光
天いっぱいこ 子どもの光を 輝かせよう

2年間、ありがとうございました。

